

トレリーフ OD 錠 25mg
 トレリーフ OD 錠 50mg

【この薬は？】

販売名	トレリーフ OD 錠 25mg TRERIEF OD Tablets 25mg	トレリーフ OD 錠 50mg TRERIEF OD Tablets 50mg
一般名	ゾニサミド Zonisamide	
含有量 (1錠中)	25mg	50mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、パーキンソン病治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、脳内の神経伝達物質であるドパミンの量をふやし、レボドパの作用を増強・延長して、パーキンソン病の運動症状やレビー小体型認知症に伴うパーキンソニズムを改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。

[トレリーフ OD 錠 25mg]

・パーキンソン病

(レボドパ含有製剤に他の抗パーキンソン病薬を使用しても十分に効果が得られなかった場合)

・レビー小体型認知症に伴うパーキンソニズム

(レボドパ含有製剤を使用してもパーキンソニズムが残存する場合)

[トレリーフ OD錠 50mg]

・パーキンソン病

(レボドパ含有製剤に他の抗パーキンソン病薬を使用しても十分に効果が得られなかった場合)

- ・この薬はレボドパ含有製剤と併用されます。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
 - ・過去にトレリーフ OD錠に含まれる成分で過敏症のあった人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・肝臓に重篤な障害のある人、または過去に肝臓に重篤な障害があった人
 - ・高齢の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

	パーキンソン病	レビー小体型認知症に伴うパーキンソニズム
1回量	25mg または 50mg※	25mg
飲む回数	1日1回	1日1回

※薬を飲んでいても、急に症状が強くなるなどの変動が認められる、ウェアリングオフ現象の改善には、1回50mgを1日1回飲みます。

●どのように飲むか？

この薬は、口の中で溶かして飲む薬です。舌の上で唾液を含ませ舌で軽くつぶして、唾液で飲み込みます。唾液だけでは飲み込めない場合はコップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲み込んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

昏睡状態（意識がなくなる）、ミオクローヌス（筋肉がピクピクする）、眼振（めまい）などの症状があらわれる可能性があります。これらの症状があらわれた場合は、使用を中止し、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の使用中止または使用を中止した後にも、悪性症候群（発熱、意識がうすれる、筋肉のこわばりなど）があらわれることがあります。これらの症状があらわれたら、医師または薬剤師に相談してください。
- ・この薬の使用中は、定期的に肝機能検査、腎機能検査、血液検査が行われることがあります。
- ・眠気、注意力・集中力・反射運動能力などの低下がおこることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
- ・汗の量が少なくなり、体温が上昇し、熱中症になることがあるので、高温になる場所を出来るだけ避けてください。特に夏季に体温が上昇することがあるので注意してください。発汗が少なくなったり、体温が上昇したり、顔が赤くなったり、意識障害がおこった場合には、すぐに受診してください。
- ・この薬の使用中止または使用を中止した後にも、死にたいと考えるようになることがあるので、このような気持ちになった場合には医師に相談してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使うことができません。妊娠の可能性があるときは、すぐに医師に相談してください。
- ・授乳中の方は、授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
悪性症候群 あくせいしょうこうぐん	38℃以上の発熱、ふるえ、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する、飲み込みにくい、筋肉のこわばり
中毒性表皮壊死融解症 (Toxic Epidermal Necrolysis : TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう (トキシック エピダーマル ネクロライシス : ていーいーえぬ)	からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、発熱、食欲不振
皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (スティーブンス・ジョンソンしょうこうぐん)	からだがだるい、高熱、発熱、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、食欲不振、赤い発疹（ほっしん）、中央にむくみをともなった赤い斑点、陰部の痛み
紅皮症（剥脱性皮膚炎） こうひしょう (はくだつせいひふえん)	発熱、かさぶた、全身の発赤、皮膚がはがれおちる

重大な副作用	主な自覚症状
過敏症症候群 かびんしょうしょうこうぐん	さむけ、ふらつき、汗がたくさん出る、発熱、意識がうすれる、考えがまとまらない、息苦しい、かゆみ、発疹、しびれ、判断力の低下
再生不良性貧血 さいせいふりょうせいひんけつ	めまい、鼻血、歯ぐきの出血、階段や坂を上る時の動悸（どうき）や息切れ、息切れ、動悸、あおあざができる、出血が止まりにくい
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	発熱、のどの痛み
赤芽球癆 せきがきゅうろう	からだがだるい、めまい、息切れ、動悸
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出血が止まりにくい
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	からだがだるい、からだのむくみ、疲れやすい、意識の低下、頭痛、眼がはれぼったい、息苦しい、尿がでない、尿量が減る
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	発熱、から咳、息苦しい、息切れ
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	脱力感、手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
腎・尿路結石 じん・にょうろけっせき	腹痛、腰の激しい痛み、血尿
発汗減少に伴う熱中症 はっかんげんしょうにともなうねっちゅうしょう	汗がでない、体温が上がる、意識の混乱、考えがまとまらない、時間や場所がわからない
幻覚 げんかく	実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる
妄想 もうそう	根拠のない思いこみ、実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる、非現実的なことを強く確信する
錯乱 さくらん	意識が乱れる、意識の混乱、考えがまとまらない
せん妄 せんもう	意識が乱れる、意識の混乱

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	38℃以上の発熱、ふるえ、からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、発熱、高熱、さむけ、ふらつき、汗がたぐさく出る、からだのむくみ、疲れやすい、脱力感、汗がでない、体温が上がる
頭部	意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する、めまい、意識の低下、頭痛、意識の混乱、意識が乱れる
顔面	鼻血
眼	まぶたや眼の充血、結膜のただれ、眼がはれぼったい、白目が黄色くなる
口や喉	飲み込みにくい、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、歯ぐきの出血、のどの痛み、から咳、吐き気、嘔吐
胸部	息苦しい、階段や坂を上る時の動悸や息切れ、息切れ、動悸、吐き気
腹部	食欲不振、吐き気、腹痛
背中	腰の激しい痛み
手・足	関節の痛み、手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ
皮膚	全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、かさぶた、全身の発赤、皮膚がはがれおちる、かゆみ、発疹、あおあざができる、皮下出血、皮膚が黄色くなる
筋肉	筋肉のこわばり、筋肉の痛み
尿	尿がでない、尿量が減る、尿の色が濃くなる、尿が褐色になる、尿が赤褐色になる、血尿
その他	陰部の痛み、しびれ、判断力の低下、出血が止まりにくい、時間や場所がわからない、実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる、根拠のない思いこみ、非現実的なことを強く確信する

【この薬の形は？】

販売名	トレリーフ OD錠 25mg	トレリーフ OD錠 50mg
PTP シート		
形状	円形の錠剤 	円形の錠剤（割線入り） 

販売名	トレリーフ OD錠 25mg	トレリーフ OD錠 50mg
直径	8mm	10.5mm
厚さ	3.2mm	3.8mm
重さ	200mg	400mg
色	白色～帯黄白色	微黄白色～淡黄白色

【この薬に含まれているのは？】

販売名	トレリーフ OD錠 25mg	トレリーフ OD錠 50mg
有効成分	ゾニサミド	
添加物	D-マンニトール、トウモロコシデンプン、結晶セルロース、エチルセルロース、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、タルク、軽質無水ケイ酸、アスパルテーム（L-フェニルアラニン化合物）、ステアリン酸マグネシウム	D-マンニトール、トウモロコシデンプン、結晶セルロース、エチルセルロース、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、タルク、軽質無水ケイ酸、アスパルテーム（L-フェニルアラニン化合物）、ステアリン酸マグネシウム、黄色三二酸化鉄

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：大日本住友製薬株式会社

(<http://www.ds-pharma.co.jp/>)

くすり情報センター

電話番号：0120-885-736

受付時間：9時～17時30分

（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）